

2025 年度

児童文化講座

おさそい

《子どもの育ち・本・未来に向けて》

児童文化講座は、1976 年「大阪府子ども文庫連絡会」(通称^{だいこれん}大子連)発足とともに、「どの子にもよい本を、よい読書環境を」と願って始めました。
大子連は、乳幼児、子どもの本、図書館、子どもを取りまく社会環境などの問題を市町村の枠をこえ、みんなで話し合い、協力しあって自主的に運営しています。
児童文化講座をはじめ、各市町村の情報交換、交流等を行っています。
今年度は、つぎのとおり開催します。ご参加をお待ちしています。
尚、本講座は状況により中止または変更する場合があります。

児童文化講座 本・こども・おとな

回	日時	会場	テーマ	講師
1	6/10(火) 10 時～12 時半	大阪府立中央図書館 (東大阪市) ライティホール	◇開講式 ドキュメンタリー映画上映&トーク 「お話の種まきをした人 —松岡享子さんの足跡—」	森 英男 氏 映画監督
2	7/15(火) 10 時～12 時	大阪府立中央図書館 (東大阪市) 2 階 多目的室	子どもの本を作りつづけて	上村 令 氏 児童書編集者
3	9/ 9(火) 10 時～12 時	大阪市立中央図書館 (大阪市) 5 階 大会議室	絵本創りでたくさん学んだよ	石川 えりこ 氏 イラストレーター 絵本作家
4	11/11(火) 10 時～12 時	大阪市立中央図書館 (大阪市) 5 階 大会議室	手塚治虫マンガの現代性	竹内 オサム 氏 漫画研究家
5	12/ 9(火) 10 時～12 時	大阪府立中央図書館 (東大阪市) 2 階 多目的室	美術館と絵本 レオーニ、ムナーリ、 三浦太郎・・・	松岡 希代子 氏 板橋区立美術館 館長
6	1/20(火) 10 時～12 時	大阪府立中央図書館 (東大阪市) 2 階 多目的室	生まれつき悪い子なんていない ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～	寮 美千子 氏 作家・詩人
7	3/10(火) 10 時～12 時半	大阪市立中央図書館 (大阪市) 5 階 大会議室	◇閉講式 絵と言葉のすきまから	なかがわ ちひろ (中川 千尋) 氏 翻訳家・作家

1、2、5、6 回は、主催：大阪府子ども文庫連絡会 共催：大阪府立中央図書館

3、4、7 回は、主催：大阪府子ども文庫連絡会 共催：大阪市立中央図書館 後援：大阪府教育委員会

公開講座

どなたでも参加できます

ただし、資料費が必要な場合があります。

①	10/14(火) 10 時～15 時	大阪市立中央図書館 (大阪市) 5 階 大会議室	◆公開講座 やっぱり図書館が大事 Part32 賑わいづくりと図書館 —図書館のこれからを考える—	山口 源治郎 氏 東京学芸大学 名誉教授
②	2/10(火) 10 時～15 時	大阪市立中央図書館 (大阪市) 5 階 大会議室	◆公開講座 図書館のこころ —くつろぎと『そうぞう』 (想像・創造)の場を提供します—	右田 ユミ 氏 箕面市立彩都の丘学園 学校図書館司書

主催：大阪府子ども文庫連絡会 共催：大阪市立中央図書館 後援：大阪府教育委員会

参加は、年間受講をお願いします。(別紙 受講申込書)

*会場へのお子さま連れはご遠慮ください。不明な点は、お問い合わせください。

2025 年度

児童文化講座

本・こども・おとな

講座のテーマと講師の紹介

《子どもの育ち・本・未来に向けて》

6 月

もり ひてお
森 英男氏

(映画監督)

ドキュメンタリー映画上映&トーク「 お話の種まきをした人—松岡享子さんの足跡— 」

1959 年京都生まれ。大阪芸術大学映像学科卒業。フィルム撮影にすすむ。篠田正浩監督作品『瀬戸内少年野球団』で映画界見習いデビュー。今村昌平監督作品『うなぎ』『カンゾー先生』、サントリー・ウィスキーCM「開高健」「山崎」シリーズなどに参加。劇映画やCMの撮影に多数従事する。

7 月

うえむら れい
上村 令氏

(児童書編集者)

「 子どもの本を作りつづけて 」

児童文学・絵本の出版に携わる編集者。早稲田大学第一文学部英文学科卒。福武書店(現ベネッセ)で児童文学シリーズ「ベストチョイス」のたちあげに携わった後、1993 年に徳間書店に入社。1994 年の創刊以来、絵本、児童文学、ノンフィクションの編集を続け、児童書編集長、児童書局局長を経て、2025 年7月からはフリーの立場で編集に携わる。

9 月

いしかわ えりこ氏
石川 えりこ氏

(イラストレーター ・ 絵本作家)

「 絵本創りでたくさん学んだよ 」

福岡県嘉麻市生まれ。広告代理店でのデザイナーを経て、イラストレーター・絵本作家となる。自身の幼少期の体験をもとに描いたデビュー作『ボタ山であそんだころ』(福音館書店)は BIB 2015 にノミネートされたほか、第 46 回講談社出版文化賞にて絵本賞受賞、2017 年に台湾で Openbook 最佳童書受賞。おもな著書に『あひる』(くもん出版)、『流木のいえ』(小学館)、『しぶがき ほしがき あまいかき』令和元年度社会保障審議会福祉文化財推薦作品特別賞、『かんけり』(アリス館、ホワイト・レイブズ 2019 選出)、『ほんやねこ』(講談社、BIB 2024 にノミネート)、『カイト』(講談社)など多数。

11 月

たけうち
竹内 オサム氏

(漫画研究家)

「 手塚治虫マンガの現代性 」

1951 年、大阪生まれ。専門分野は、マンガ史および児童文化。大阪教育大学教育学部修士課程修了。大阪国際女子大学を経て、同志社大学社会学部教授。現在は、同志社大学名誉教授。『マンガと児童文学の＜あいだ＞』(大日本図書)で第 14 回日本児童文学学会奨励賞。著作に『手塚漫画の不思議』(晃洋書房)『マンガ表現学入門』(筑摩書房)『手塚治虫は「ジャングル大帝」どんな思いを込めたのか』(ミネルヴァ書房)『手塚治虫語辞典』(誠文堂新光社)など。おさ・たけしのペンネームで漫画家としても活動。主宰していたマンガ・アニメ・児童文化の批評研究誌『ビランジ』(1997 年創刊 2022 年 50 号で終刊)で 2023 年第 47 回日本児童文学学会特別賞を受賞。

12月

まつおか きよこ
松岡 希代子氏

(板橋区立美術館 館長)

「 美術館と絵本 レオーニ、ムナーリ、三浦太郎・・・ 」

1961 年東京生まれ。千葉大学大学院教育学研究科美術教育専攻修了ののち板橋区立美術館に学芸員として勤務。1989 年より「イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」の担当となり、絵本作家の育成に取り組む。美術展としての絵本の可能性に注目しレオ・レオーニ、トミ・ウンゲラー、ブルーノ・ムナーリ、瀬川康男、安野光雅、三浦太郎など著名な絵本作家の全貌を取り上げた展覧会を多数開催。2010 年から 4 年間、国際児童図書評議会(IBBY)の国際理事、IBBY 朝日//国際児童図書普及賞審査委員長を務める。

1月

りょう みちこ
寮 美千子氏

(作家 ・ 詩人)

「 生まれつき悪い子なんていない ～奈良少年刑務所 絵本と詩の教室～」

作家・詩人。1955 年東京生まれ。1986 年、毎日童話新人賞を受賞しデビュー。1990 年代、衛星放送ラジオ「セント・ギガ」に 600 篇以上の詩を提供。2005 年「楽園の鳥カルカッタ幻想曲」(講談社)が泉鏡花文学賞を受賞。2006 年首都圏から奈良に移住。2007 年～2016 年、奈良少年刑務所で社会性涵養プログラム講師。幼年童話、絵本、純文学、ノンフィクション、詩など幅広く執筆。著書に『おおかみのこがはしってきて』『イオマンテ めぐるいのちの贈り物』『詩集 水の時 Voice of St.GIGA』『詩集 星の時 Voice of St.GIGA』(いずれもロクリン社)など多数。『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』編(長崎出版のち新潮文庫)なども。

3月

なかがわ ちひろ (中川 千尋) 氏 (翻訳家 ・ 作家)

「 絵と言葉のすきまから 」

子どもの本の翻訳家・作家・画家として活躍。創作童話『天使のかいかた』(理論社)で日本絵本賞読者賞、『かりんちゃんと十五人のおひなさま』(偕成社)で第47回野間児童文芸賞、『やまの動物病院』(徳間書店)で第33回ひろすけ童話賞を受賞。翻訳作品に『ふしぎをのせたアリエル号』(徳間書店)、『ちいさなあなたへ』(主婦の友社)、『せかいでいちばんつよい国』(光村教育図書)、『ありがとうのえほん』(偕成社)など。創作絵本『おたすけこびと』『のはらひめ』(ともに徳間書店)など多数。

10月

公開講座

やまぐち げんじろう
山口 源治郎氏

(東京学芸大学名誉教授)

やっぱり図書館が大事 Part32 「 賑わいづくりと図書館 ―図書館のこれからを考える― 」

1954 年石川県生まれ、豊中市在住。東京学芸大学名誉教授。専門領域は公共図書館史、図書館法論、図書館政策論など。主な著作として、『図書館法の使命を問う』(共著 日本図書館協会)、『新図書館法と現代の図書館』(共編著 日本図書館協会)、『図書館史：近代日本篇』(共編著 教育史料出版会)、など。

2月

公開講座

うぎた ユミ氏

(箕面市立彩都の丘学園 学校図書館司書)

「 図書館のこころーくつろぎと『そうぞう』(想像・創造)の場を提供しますー 」

子どもたちが生涯にわたり、図書館を利用し、自分で学び考える人になるには、学校図書館の日々の活動を通して、何を体得してもらうか。そんなことを考えながら、目の前の子どもたちと向き合ってきた・・・というお話をしたいと思います。

2024年度 児童文化講座 報告

6月…「やあ元気？ 世界の子どもたち」……………長倉 洋海氏 写真家
 7月…「子どもの本とわたし」……………岩瀬 成子氏 児童文学作家
 9月…「チェコの子どもの本の翻訳家になって～あたたかい人々と絵本～」……………木村 有子氏 チェコ語翻訳家
 10月…公開講座 やっぱ図書館が大事 Part31「公共図書館に対話的空間をつくる-図書館のこれからを考える-」
 ……………山口 源治郎氏 東京学芸大学名誉教授

※午後 交流会

11月…「今を生きる子どもたちへ ～本で未来の根っこを作ろう～」……………安田 夏菜氏 児童文学作家
 12月…「一歩ふみだしてみよう！ ～編集者の立場から考えたこと～」……………細江 幸世氏 フリー編集者・ライター
 1月…「いつか吹いていた風を描く」……………植田 真氏 画家・絵本作家
 2月…公開講座 「子どもと読書～“いま”と“これから”を考える～」
 ……………汐崎 順子氏(慶應義塾大学非常勤講師・児童図書館研究会副委員長)

※午後 交流会

3月…「絵とことばが会おうところ」……………きたむら さとし氏 絵本作家・イラストレーター

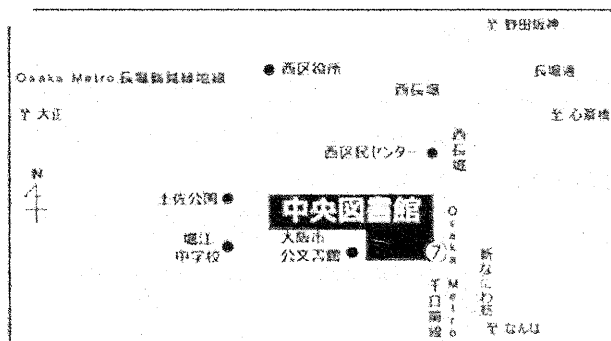
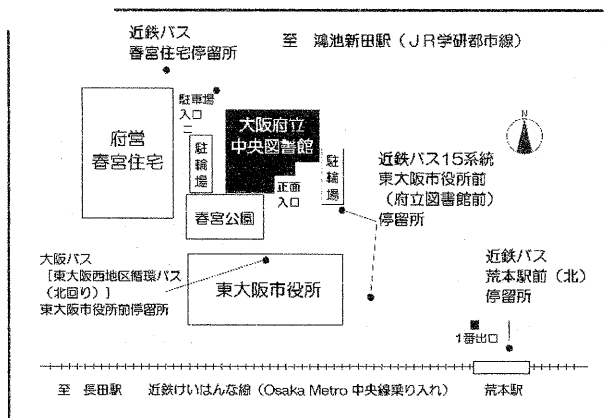
2025年度 講座会場 お間違いのないよう、ご注意ください。

大阪府立中央図書館

第1回: 6月 10日(火)
 第2回: 7月 15日(火)
 第5回: 12月 9日(火)
 第6回: 1月 20日(火)

大阪市立中央図書館

第3回: 9月 9日(火)
 第4回: 11月 11日(火)
 第7回: 3月 10日(火)
 公開講座 ① 10月 14日(火)
 ② 2月 10日(火)



近鉄けいはんな線(Osaka Metro 中央線)
 「荒本」下車 ①番出口
 北西へ約 400m(東大阪役所北側)

Osaka Metro 千日前線・長堀鶴見緑地線
 「西長堀」下車 ⑦番出口スグ

●参加者の皆様は、以下のご協力をお願いします。

- 咳エチケット、手洗いへのご協力をお願いします。
- 発熱や咳・くしゃみ等の症状があるなど、体調不良の際は、ご来館をお控えください。

◇障がいなどの状況により、配慮が必要な方は、必ず事前にご相談下さい。

◇お問い合わせ 大阪府子ども文庫連絡会

砂山 TEL/FAX 072-330-1609

天瀬 TEL/FAX 06-6852-0194

